

充実した教育体制で1年目から  
安心してスキルを身に付けられます！

中部病院  
伊藤 玲加  
[岩手県立大学卒]



先輩方の優しく温かいサポートを受け、  
やりがいのある日々を過ごしています。

生まれ育った岩手の医療に貢献したいと思い、岩手県立病院を志望しました。現在は4科混合の病棟に所属しています。入職当初は分からないことばかりで不安や焦燥感でいっぱいでしたが、先輩方の優しく温かいサポートを受け、やりがいのある日々を過ごしています。患者さんだけではなく患者さんのご家族とも関わりながら看護を行っていくことは難しくもありますが、その分感謝の言葉を頂いたときには喜びや達成感を感じています。

岩手県立病院は教育・指導体制が充実しています。新人の時から様々な研修に参加し、着実にスキルアップしていくことができます。就職活動で悩んでいる方もいると思いますが、是非一緒に岩手県立病院で働きましょう。

### 1日の流れ

- 8:30 ● 情報収集
- 8:45 ● 受け持ち患者へ挨拶
- 9:00 ● 管理申し送り  
注射準備、午前中の内服薬確認
- 10:00 ● バイタル測定、注射の実施、看護ケア、入浴介助
- 11:45 ● 配薬、血糖測定
- 12:00 ● 配膳、食事介助、休憩
- 12:30 ● 下膳、口腔ケア
- 13:30 ● カンファレンス
- 14:00 ● 介護ケア、処置
- 16:00 ● バイタル測定
- 16:30 ● 申し送り、翌日の手術、検査の準備・説明退院、転院準備
- 17:15 ● 受け持ち患者へ挨拶、退庁



病室で患者さんの  
バイタル測定・注射を実施中



患者さんのケアの後は  
すぐに電子カルテに入力

PNSで先輩と意見交換しながら看護することができ、日々学ぶことが多く充実しています。

私は、生まれ育った岩手県の医療に貢献したいと思い、新人教育や研修が充実している県立病院を選びました。現在、外科・消化器内科・循環器内科の混合病棟で勤務しています。処置介助や緊急入院等が多い中でも、患者さん一人一人と向き合う時間を大切にしている職場です。PNSで先輩と意見交換しながら看護を実践することができ、日々学ぶことが多く充実しています。突発的な業務が多い中で優先順位を考えながら業務をすることに難しさを感じますが、安全に終わることができた時はやりがいと自身に繋がります。困っている時に声をかけてくれる先輩方に日々助けられています。夜勤明けに先輩と食べるラーメンは格別です。

### 学生へメッセージ

毎日勉強や実習お疲れ様です。学生時代は勉強や実習をする中で、息抜きの仕方を身につけることも大切だと思います。私はよく実習の合間に友人とご飯に行っていました。国家試験前は、過去問題や模試を解いて解説をじっくり読むことを繰り返しました。今一生懸命取り組んでいることは、将来必ず自分の力になります。一緒に頑張りましょう！



先輩看護師から  
ご指導いただいています



電子カルテで  
患者さんの情報を確認中

自分の成長が  
地域を守る力になる



釜石病院

佐々木 史

[岩手県立宮古高等看護学院卒]

先輩の温かい声かけやサポートがある環境で看護師として必要な知識・技術・態度を習得できます。

久慈病院

中谷 あかり

[君津中央病院附属看護学校卒]



Uターン

地元に戻り岩手県に貢献し恩返しをしたいという思いが強くなりUターンすることに決めました。

私は県外の看護学校へ進学しました。地元を離れて生活し看護を学ぶ中で、地元の良さや家族の大切さに気付きました。就職活動を通して様々な病院のインターンシップに参加していましたが、次第に地元に戻り岩手県に貢献し恩返しをしたいという思いが強くなりUターンすることに決めました。看護師という専門職者として、一人一人の習熟度に応じた教育プログラムによる継続教育、研修制度が充実している県立病院に魅力を感じました。地域の人たちが自分らしく生きることを看護のちからで支えていきたいと思い、幼い頃から身近な存在である県立病院を志望しました。

私が住んでいる場所はこんなところ

久慈市は、国内最北端の海で漁をする「北限の海女」の町で、NHKの朝ドラ「あまちゃん」の舞台になりました。三陸の新鮮な海の幸がとてもおいしいです。山に目を向けると世界有数の琥珀の採掘産地で知られています。また、久慈秋祭りは600年以上の歴史があり、毎年多くの観光客に感動を与えています。海、山、町のそれぞれにたくさんの魅力がある地域です。久慈病院で働いて、日々地域の人たちの優しさや温かさを感じています。



注射薬に間違いがないかチェック中



患者さんとの信頼関係もしっかり構築します

1ターン

充実した制度は  
大きな支えになると感じています。

私は結婚を機に岩手県に戻ってきました。女性のライフイベントである妊娠出産育児を、仕事を続けながら両立していくためには、職場の制度が重要です。岩手県立病院を転職先に選んだ理由は、福利厚生が充実しており、自身のワークライフバランスが保たれると思ったからです。妊娠出産育児を控えるスタッフとその家族にとって、充実した制度は大きな支えになると感じています。

前の職場とはここが違う！

以前勤めていた職場は、異動がなく産科単科の病棟で、ほとんどが助産師でした。県立病院は転職や部署内異動があり、様々な経験がある先輩方ばかりでした。産科だけでなく他科の経験もある先輩方と業務することで、知らなかった知識・技術を習得することができます。また、看護師との関わりの中で、産科では経験できない疾患や検査・治療の話聞く機会が増え、知識を得ることができています。経験豊富なスタッフと働くことで、自分のスキルアップになること、より充実した支援やケアを行うことができることが県立病院の大きな魅力です。



ミルク授乳中  
たくさん飲んですくすく育ってね



赤ちゃんの心音を確認します  
元気な音が聞こえます

経験豊富な先輩方に囲まれて仕事ができ、  
スキルアップにつながります！

中央病院

鈴木 咲

[岩手県立大学卒]